



2学期の始まりにあたって

校長 池田 宏

今年の夏休み、いかが過ごされたのでしょうか。本来であれば東京オリンピック・パラリンピックが開催されていました。私はチケットが取れなかったのですが、テレビで観戦することを楽しみにしていました。児童生徒のみなさんは、何を楽しみにしていたのでしょうか。夏休みが短くなり、社会的に自粛ムードも高まって、やりたかったことができないまま、夏休みが終わってしまった人もいるのではないのでしょうか。

今日から2学期です。学校行事などは減ってしまいましたが、久喜特別支援学校の先生たちは、このような状況の中でも児童生徒のみなさんが学校生活を楽しめるよう準備をしてきました。まだまだ心配なことはたくさんありますが、このような時期だからこそ、児童生徒のみなさんには楽しく学校生活を送ってほしいと願っています。そのために、毎日、元気に学校に来てほしいと思います。感染症対策はもちろんですが、まだまだ暑い日が続くようです。体調の管理には十分に気を付けてください。学校では、今後ICT環境が整備され児童生徒用のタブレットPCも配られる予定となっています。どのような使い方ができるかは、まだはっきりと分かりませんが、児童生徒のみなさんが楽しく学べるような工夫を考えていきたいと思っています。



各学部より



小学部

中学部

小学部3年生はコロナの影響で大好きなプールに入ることができず、夏の風情を少しでも味わいたいと「なつまつり」をしました。みんなで盆踊りや金魚すくい、すいかわりをして盛り上がりました。金魚すくいでは、手で水面を叩いて、水の冷たさを感じる子やすべての金魚をすくいあげる子もいました。すいかわりでは、いつ割れるかと注目しながら友だちを応援しました。ついに割れると、中からお菓子が出てきて…。最後にお菓子を食べて、みんなでお祭りを楽しむことができました。



1学期は、コロナ禍の中、学部全体での行事はできず、学年ごとに密にならないように配慮しながら、1年生はサトイモ植え、2年生は七夕集会、3年生は学年集会などそれぞれ工夫を凝らしてみんなで楽しめる授業に取り組んできました(写真)。2学期は修学旅行(3年生)や持久走大会などが予定されています。中止にならないことを願って生徒たちのモチベーションを上げながら日々充実した生活を心がけたいと思います。



全校自立活動研修会で

今年度の自立活動部では、研究部と連携し合い、「自立活動の個別の指導の流れ図」と「太田ステージ」を中心に研修を進めてきました。コロナウイルスの影響で中止となってしまった研修会等もありましたが、8月7日には、久喜特別支援学校初となるZOOMでの研修会を行いました。NPO法人銀杏の会より鏡直子先生をお呼びし、「太田ステージについて」をテーマに認知発達治療について学び、学校での活用の仕方を教えていただきました。また、8月3日～8月7日の5日間で教員手作り教材・教具展を開きました。様々なアイデアが詰まった教材を手にとっていただき、「いろいろな教材を見ることができて楽しかった」「参考になった」などの声を聞くことができました。

